

技術概要書 (様式)

※別紙2

技術分類	安全 防災 環境 コスト ICT 品質	(該当する分類に○を付けてください)	
技術名称	樹脂型枠 (プラスチック型枠)	担当部署	大阪事務局
NETIS登録番号	KK-000020-V	担当者	伊藤 誠一
社名等	日本プラスチック型枠工業会	電話番号	06-6304-9551
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>樹脂型枠(プラスチック型枠)は南洋材合板型枠の代替として開発された型枠です。「CO2排出量の削減」、「産業廃棄物削減」、「リサイクル可能」という建設業界の諸問題に効果的であり、次世代型枠として注目されています。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>「カタパネル」天馬株式会社。「カタパネル」は複合強化プラスチックを材料に開発されたコンクリート打設用型枠パネルです。従来の樹脂型枠に比べサイズバリエーションの充実、物性値、転用性に加え軽量化による作業者への負担軽減も見られます。また特に、自社でのリサイクル設備導入などの取り組みに高い評価を頂いています。</p> <p>「セフベン」大和技研工業株式会社。コンクリート打設用樹脂製明り取り用型枠。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>転用回数増加及びリサイクルシステムの確立により、産業廃棄物の削減効果が期待できます。合板の使用に代替したことにより、熱帯雨林資源の保護効果及びCO2の排出抑制が期待できます。樹脂製とすることで光の透過性がある為、作業現場が明るくなり、作業環境の改善が期待できます。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>一般的なコンクリート型枠工事(建築・土木)に使用可能です。コンクリート打設時の圧力に対する変形、たわみの量の検討と、セパレーター、端太の設計等は製品物性値に基づき実施してください。</p> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 38 件 (九州 1件、九州以外 37件) 自治体 95 件 (九州 5件、九州以外 90件) 民間 356 件 (九州 4件、九州以外 352件)</p>		

